

# 学校跡地活用の促進（京都府京都市）

## 取組概要

- 学校の統合によって生み出された、市民の貴重な財産である学校跡地（15校、平成28年8月現在）について、**民間等事業者の活力**を活かした提案を広く募集
  - 「**番組小学校**」という学校創立の歴史的背景を踏まえ、**原則、土地は売却せず、貸付け**（10年～60年の定期借地）
  - 地域住民の**自治活動・防災拠点**としての機能を継続・確保
  - **本市の政策課題**への対応に資する提案を募集
- 地域の活性化**      **にぎわいの創出**

**文化・芸術の発信**

**雇用の創出**      **伝統産業の振興**
- 活用後も**地域住民・本市・事業者の3者**で、適宜、事業運営に関する協議を実施

人口 1,474,508人

担当 行財政局 資産活用推進室



漢字ミュージアム（元弥栄中学校跡地）

## 取組の効果

- **元弥栄中学校跡地**（土地の貸付料：78,358千円／年）  
⇒日本初の「漢字ミュージアム」として整備。平成28年6月オープン
- **元清水小学校跡地**（土地の貸付希望価格：65,000千円／年 ※地元利用等の減額前）  
⇒既存校舎の意匠や構造を活かしつつ、京都の伝統技術や文化を取り込み、質の高いホテルとして整備予定。本市の学校跡地がホテルとして活用される初めての事例

## 創意・工夫した点

- 「**事業者登録制度**」を創設し、事業者の活用ニーズを事前に集約
- 早期に地元へ情報提供し、地元の意向を事業者のプランに反映

## 他団体へのアドバイス

地域住民の要望や市の意向等を事業者のプランに反映させるためには、**早い段階から事業者と情報を共有する**仕組みを構築することが有効（例：事業者登録制度）



ホテルとして整備予定（元清水小学校跡地）